

Let's トライ防災～やってみよう！伝えよう！ぼくらの手作り防災訓練～

本単元で育成する資質・能力 課題発見力 思考力・判断力・表現力 主体性 自己肯定感

1 単元について

<p>【単元観】</p> <p>本校では、総合的な学習の時間で系統立てた防災教育を展開しており、4学年では、地域の自主防災の取組に関する学習を進めている。本単元の学習は、万が一に災害が起こった時、自分たちの命を守るために知っておきたいことを出し合い、調べて伝え合う活動を中心に行う。「各丁目で行われている防災訓練ではどのようなことをしているのか。」「どこにどのように避難すればよいか。」など、自分や家族が避難するときに役立つことを調べ、実際に体験したり、資料や実物を使い説明したりするチャレンジミーティング（交流会）を開く。チャレンジミーティングでの情報の共有、伝える相手に応じた効果的な表現方法の選択等、自分たちが調べたことを保護者や地域の人に広げる活動を仕組むことを通して、自分の命を守るために主体的に防災活動に関わろうとする態度を養うことをねらいとしている。</p> <p>広島県知事表彰を受けるほど自主防災の意識が高い四季が丘の取組を語り合い、伝えることを通して、自分や家族の命を守るために自ら考え判断し、行動できる力を育てることができるとしている。</p>	<p>【児童観】</p> <p>本学級の児童は、3学年の「まちのすてきを見つけ隊」の学習で、四季が丘のすてきな場所・すてきな人について調べ、知り得た情報をポスター・新聞などにまとめて地域の方に開いていただくという活動を行っている。整理・分析の場面では、見つけたたくさんの情報を思考ツールや付箋を使って比較・検討するという活動を積極的に取り入れている。これらの経験を通して、児童は「調べ、考え、表現する力」を身に付けることができたという実感をもっている。本単元を通して、ねらいとなる「地域のよさ」に出会い、発見することはできたが、その感動から地域を大切に思うまでには至っていない。</p> <p>今年度は、3年生での学びをつなぎ、「地域のよさ」を防災の取組に焦点化して学習を進めている。1学期は、防犯・交通安全・防災の3つのテーマについて実際に地域に出かけて調べ、マップを作成し、交流している。</p> <p>7月と10月に行った資質・能力に関するアンケート結果によると、主体性が92%であり、肯定的にとらえている児童が多いことがわかった。収集した情報をわかりやすく整理し、まとめたことをもとに話し合う活動を積極的に取り入れた結果だと捉えている。この学びを他教科にもつなげ、国語科や図工科と関連付けて学校行事についてのポスター作成に取り組み、地域に発信している。また、学習発表会で自分たちの思いを相手に届ける表現活動に取り組み、達成感を味わうことにより、自己肯定感の高まりを感じている児童もいる。</p>
<p>【指導観】</p> <p>1学期の学習の導入として、3年生での学習をもとに「四季が丘は安全安心な街」ということを再認識した。しかし、同じ学年に交通事故に遭った児童がいたことや不審者についての通報などから「四季が丘は本当に安全安心といえるのか。」という課題意識を児童自身が持つことができた。その課題を解決するために、防犯・交通安全・防災の3つのテーマについて地域に出て調べ、地域安全マップを作成した。その後、3つのマップを比べ、防犯・交通安全については地域の方の協力が大きいものに対して、防災については、避難所などの存在は調べることができたが、防災に関わる人については十分調べられなかったことに気付いた。そこで、「四季が丘には防災に関わる人がいるのか、四季が丘の防災はどうなっているか調べたい。」という新たな課題を設定し、取材活動を行った。地域の自主防災に取り組んでおられる方々をゲストティーチャーとしてお招きし、その方々のお話を通して、四季が丘の防災の取組について全体像をつかむことができた。しかし、災害を身近なこととしてとらえることが難しく、四季が丘の防災の取組と自分たちの生活を結び付けて考えることは十分できていない。</p> <p>2学期の学習は、四季が丘で起こりうる土砂災害について実態を写真や映像で見せ、「土砂災害が起きたら自分たちはどうなるのか。」について投げかける。1学期に学んだ防災の知識だけでは命を守ることは難しいということに改めて気付かせ、地域の防災の取組の大切さや学びの価値を発見させていく。</p> <p>そこで「自分の命を守るために知っておきたいことは何か。」と問い、より重要な情報を得て、生活に役立てるという課題を設定する。</p> <p>課題の解決に当たっては、ブレインストーミングを使い、調べたいテーマを十分に出し合う。それらを、命を守るためにより重要なものという視点で序列化し、追究するテーマを絞りこむ。情報の整理・分析の際は、集めた情報を「より役に立つもの」という視点で整理させ、命を守るために役に立つ発表ができるようにする。</p> <p>単元全体を通して、「自分の命を守るために調べて役立てる。」という目的を常に意識させ、調べたことの発表だけで終わらず、実生活で生かせるようにする。</p> <p>お互いに調べた情報を共有する中で、児童は、「家族の命も守りたい。」という思いをもつであろう。家族の命を守るためにどうすればよいか問いかけ、再度、家族に向けた交流会を開く計画を立てる。その際、より役に立つ発表になるよう改善点を考えたり、アンケートを活用して必要な情報を精選したりさせる。表現方法や内容を工夫して発信する活動を繰り返すことで、より深い学びにしていきたい。</p>	

2 単元の目標

自分の命を守るために知っておきたい情報を収集したり発信したりする活動を通して、日頃から災害に備えることの大切さを再認識させ、防災に対する意識の向上をはかるとともに、自分たちの命を守るためにできることを考えて実践できるようにする。

3 単元の評価規準

スキル	学習方法	課題発見力	① 災害の実態を知り、「自分の命を守るために知っておきたいこと」を考え、課題を設定している。 ② 収集した情報から対象のよさや価値を実感し、課題を設定している。

			③ブレインストーミングで出し合った意見を序列化し、課題を設定している。
		思考力	① グラフ、表、カード等を活用して、さまざまな情報を比較、分類、関連づけて考えることができている。 ② 見通しをもって、調査活動や情報収集についての計画を立てている。 ③ 調べたことを発信する目的や伝える相手に合った内容にしようと思えることができている。
		判断力	① 調べたことやゲストティーチャーの話、アンケート結果などから得た情報から必要なものを判断している。
		表現力	① 調べたことやゲストティーチャーの話から得た情報をもとに相手や目的に応じて伝えたいことを提示物や発表原稿等にまとめている。 ② 調べたことや提示物、発表原稿等にまとめたものを効果的に発表・発信する方法を考え、表現している。
意欲 態度	自分 自身	主体性	① 体験したり伝えたりしたいことについて、自分の考えを積極的に伝えたり、他者の異なる意見を受け止めたりしている。 ② 課題の解決に向けて、主体的に情報収集をしたり、発信するための表現活動に取り組んだりしている。
価値観 倫理観	他者 や 社会	自己 肯定感	① 学習を振り返り、自分の学習へ向かう姿勢を肯定的に捉えることができている。 ② 学習を振り返り、自分の命を守るための防災の取組の大切さを感じ、自分の生活を見つめたり、生活に生かしたりしようとしている。

4 単元の展開(全30時間)

学習過程	児童生徒の思考の深まり	指導のポイント 他教科等との関連
課題の設定 (2)		
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 一学期の学習を振り返り、防災について学んだことを整理する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 日本国内で6～8月におきた災害(主に水・土砂)について、資料をもとに実態を知る。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 一学期の学びだけでは命を守ることは難しい事実気づき、「自分の命を守るために知っておきたいこと」を調べて伝え合うという課題を設定する。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ○3つのマップを比べて、防災について調べたよ。 ○地域の避難所や防災倉庫の中身、防災に関わるひとについてはわかったよ。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 一学期の学習を振り返り、自分たちのもつ防災の知識を整理する。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ○今年はたくさん雨が降ったから、大きな水害があったね。山がくずれてきたら、こんな大変なことになるんだね。 ○もし四季が丘で土砂災害が起きたら、1学期の情報だけでは避難ができないかもしれない。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 災害の実態に衝撃を受けるとともに、「このままで大丈夫なのか」と不安を抱き始める。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ○避難するときに大切なことについて、もっと知りたいな。 ○もっと知っておかないと、いざというときに逃げられないよ。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 自分たちにとって大切なことをもっと知りたいという気持ちが高まってくる。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 7月5日の北九州豪雨災害や7月22日の秋田県豪雨災害の写真を提示する。より身近な災害として、一昨年の広島県豪雨災害を取り上げる。 ■ 土砂崩れの動画(国土交通省)を見せることで、1学期の学習では不十分だと気付かせ、「命を守るためにできることをもっと知りたい。」という声を出させる。
もしも災害が起きたら…。自分の命を守るために知っておきたいことを調べて役立てよう。		

整理・分析（2）

自分の命を自分で守るためにどんなことを知りた
いか、話し合う。

- 非常食は倉庫に入っていないと言っ
ていたから、何を準備するか知りたいな。
- 避難所に持っていくものは何だろう。
- 防災訓練はいつ、どこでやっているの
かな。
- 避難所について、もっと詳しく知りた
いな。
- 土嚢袋の砂の量はどのくらい入れるの
かな。
- 消防団って誰が入っているのかな。

知りたいことをどんどん思いつき、新しい
アイデアが出てくる。

出し合った項目を重要
度で序列化し、命を守る
ためにより重要なもの
を選び、テーマを決め
る。

- 食事や避難所については重要だと思っ
たよ。
- 訓練しておく、いざというときに役立
つから大切だよ。
- 土嚢袋の砂の量は重要じゃないかもし
れないね。

命を守るためという目的を意識し、テーマ
をしぼりこんでいる。

- ブレインストーミングを活用し、防災についてもっと知りたいこと
のアイデアをたくさん出させる。

- 出てきたアイデアを「より重要なもの」という視点で序列化し、追
究するテーマを絞り込む。

情報収集（2）

自分のテーマについて、
個人で情報収集する。

- 避難所の看板に2種類あるのはなぜか、
詳しく調べてみよう。
- 持ち出し袋の中身は家によって違うか
もしれないな。
- 避難所ではどんな生活をするんだろう。
9月の防災キャンプに行った人に話を聞
きたいな。
- 町目ごとに防災訓練があると聞いたけ
ど、自分の住んでいる丁目では、いつ、ど
んなことをしているか聞いてみたいな。

課題を解決するために必要な情報を考え、
選んで情報収集をしている。

- どんな情報をどうやって収集すれば、より詳しい情報を得ら
れるのか考えさせる。

- 防災に関するビデオ資料を用意し、映像の分かりやすさを感じ
させておく。

整理・分析（8）

同じテーマを選んだ人同
士で集まり、それぞれが
集めた情報を交流する。
「より役立つもの」とい
う視点で整理・分析する。

- 非常食には缶詰とレトルトとあったよ。
- 避難所ではエコノミー症候群にならない
ように、運動や水分補給も大切だったよ。

他のテーマを選んだ友達
が知りたいことについて
アンケートをとり、さら
に情報を収集する。

- 災害があったときに持っていたら役に立
つものが知りたいって書いてあるよ。
- 非常食だけじゃなくて、持っていたらいい
ものも調べたらいいんだね。

【国語科】

アンケートをとり、情報を収集する学習活動と関連

- アンケートの結果をもとに、さらに必要な情報を収集させる。

<p>他のテーマを調べた友達に伝えるための方法を考え、資料を準備する。</p>	<p>自分たちにとって必要なことや、できそうなことがはっきりしてくる。</p> <p>○非常食は実物を用意したら、よく分かると思うよ。 ○持ち出し袋に入れるものチェックリストを作ってみたらどうだろうか。 ○各丁目の訓練予定を一覧表にして紹介したらいいと思うよ。呼びかけもしたいな。</p> <p>友達に自分たちが調べたことを伝え、役立てたいという思いが高まってくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「自分の命を守るために」という目的を意識して分析させ、自分にできそうなことを整理する。 ■ 【国語科】取材した情報をポスターにまとめる学習活動との関連 ■ いろいろな方法を紹介し、伝えたいことがより伝わる方法を選べるようにする。
<p>まとめ・創造・表現 (2)</p>		
<p>資料を使い「命を守るために知っておきたいこと」について交流する。 (手作り防災チャレンジミーティング)</p>	<p>○実物があったから、よくわかったよ。 ○日頃からの備えが大切なんだね。 ○各丁目の防災訓練では、どんなことをしているかがわかったから参加してみよう。</p> <p>交流で得た知識で、自分の命を守れるかもしれないという思いが出てくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 命を守るために役立ちそうなこと、自分にもできそうなことをメモしながら、他のチームの発表を聞く。 ■ 【国語科】メモを取りながら聞く学習活動との関連
<p>振り返り (2)</p>		
<p>手作り防災チャレンジミーティングを振り返り、気づきを交流する。</p>	<p>○自分の命はなんとか守れそう。 ○すごく役に立ちそうだ。他の人にも伝えたいな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 感想を交流することで調べたことが役に立ちそうだ実感させ、他の人にも伝えたいという思いをもたせる。
<p>課題の設定② (2)</p>		
<p>家族の命を守るためにも調べたことを発信したらどうか、という課題を設定する。</p>	<p>○誰に伝えたらいいかな。 ○家族の命も守りたいな。</p> <p>「自分の命だけでなく、家族の命も守りたい」という次の課題を見つける。</p>	
<p>いつ、どのように伝えようと効果的か話し合い、方法を決める。</p>	<p>○参観日に発表したら、お家の人に見てもらえる。 ○交流会では2時間使えたけど、参観日は1時間しかないよ。 ○参観日に来られない人もいるし、兄弟のところに行ったら、全部伝わらないよ。</p> <p>手作り防災チャレンジミーティングの準備のままでは、十分に伝わらないことに気づき、新たな方法に目を向ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 参観日では全てのチームの発表を見てもらうことが難しいこと、来ることができない人もいることなど、多くの人に伝えることの問題点を投げかけ、方法を考えさせる。
<p>より役立つ情報を家族に伝えるために、参観日で再度交流会をすることを計画する。</p>	<p>○今よりわかりやすく伝えるためにはどうしたらいいかな。 ○内容は今のままでいいのかな。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 手作り防災チャレンジミーティングでとったメモを各テーマごとに付箋を使って整理し、情報を選ぶときの視点にさせる。
<p>家族の命も守りたい～参観日で伝えよう、役立てよう～</p>		

整理・分析②（２）		
<p>手作り防災チャレンジミーティングでの振り返りをもとに、役立つと思ったことを伝え合う。</p>	<p>○実際に持ち出し袋を作ったことが役に立った。 ○避難所で気をつけることは役に立ったみたいだよ。 ○各丁目でやっている訓練が分かったから、行ってみたい。</p>	<p>■ 事前に「命を守るためにどんなことを知りたいか」「防災について知っていること」というテーマで保護者にアンケートをとっておく。</p>
<p>ふり返りから、自分たちのチームの発表の課題に気付く。</p>	<p>○役に立つという意見が少ないのはなぜだろう。 ○おうちの人に全部伝える必要があるのかな。</p>	
<p>保護者へのアンケート結果や自分たちの発表の課題をもとに、次の発表をよりよくするための工夫（作戦）を考える。</p>	<p>○伝える情報が多すぎたから伝わらなかった。大切なことだけに絞り込もう。 ○順番を入れ替えて、雨の怖さが伝わるようにしたいな。 ○体験を入れたほうが伝わりそうだから、もう少し時間をとりたいな。</p>	
<p>限られた時間でより重要な情報を伝えるため、内容を選択したり、表現方法を見直そうとしたりする。</p>		<p>■ 「絞り込む」「増やす」「入れ替える」など、各チームに合わせた作戦を考えさせることで主体的に工夫させる。</p>
まとめ・創造・表現②（６）		
<p>資料や表現方法を見直し、再度作成し、発表の準備をする。（本時）</p>	<p>○雨の怖さを伝えるクイズに内容を変えたい。 ○一番知ってほしい病気だけに絞って発表しよう。</p>	
<p>相手を意識し、役に立つ発表にするために内容や表現方法を工夫しようとする思いが高まってくる。</p>		
まとめ・創造・表現②（１）		
<p>参観日で家族の人に向けて発信する。 （親子で防災チャレンジミーティング）</p>	<p>○うまく伝わったかな。 ○これで家族の命も守れるかな。</p>	<p>■ 保護者や地域の方からの外部評価を活用し、自己有用感を高める。</p>
振り返り②（１）		
<p>家族からの感想や、家族で話し合ったことをもとに振り返る。</p>	<p>○親子で防災チャレンジミーティングのあとに家で避難のときの約束を決めたよ。 ○スーパーで非常食を見つけたから買ってみたよ。</p>	
<p>調べた情報を実生活に役立てようとする思いが高まってくる。</p>		

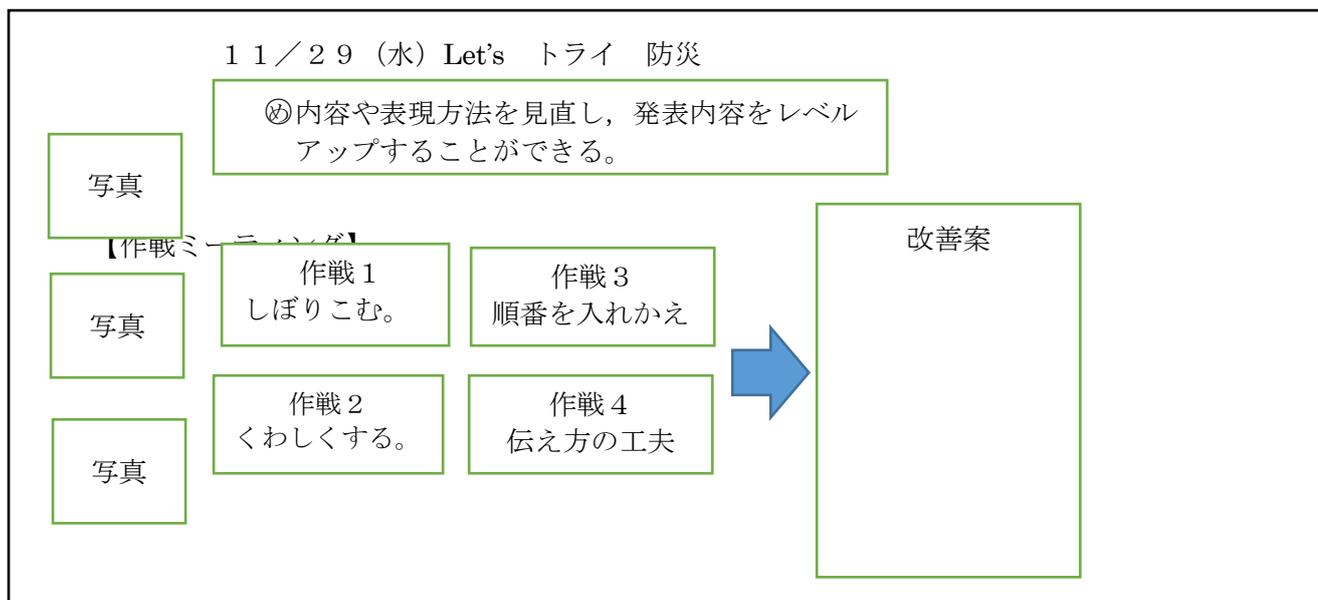
5 本時の目標

・内容や表現方法を見直し、より役に立つ発表にすることができる。

6 本時の展開

	学習活動（時間）	◇指導上の留意点 ・予想される児童の反応 ◆主体的な学びを促す教師の手立て	評価規準（評価方法）
課題の設定	1 前時の学習を想起し、本時のめあてを確認する。	◇自分たちが決めた作戦を発表させ、確認する。 ◇本時では、小グループで発表内容や表現方法を見直し、チームで交流するということを伝える。 ◇チームで交流するときに、見直した内容や表現方法を伝え合うことを確認する。 ◆小グループに応じた作戦を選ばせることで、見直すポイントをはっきりさせる。	
	㊸ 内容や表現方法を見直し、発表内容をレベルアップすることができる。		
情報の収集	2 グループで、発表内容を見直し、工夫できるところを話し合う。	◆小グループごとに考えさせることで、主体的に話し合いに参加できるようにする。 ◇自分たちで決めた作戦を使って、どんな情報を選んで見直すかを問いかける。 ・避難所での過ごし方についての情報が多すぎたから、大切なことだけ残そう。 ・雨の怖さを伝えるクイズに内容を変えよう。	【思考力】 ・調べたことを発信する目的や伝える相手に合った内容にしようと思えることができる。 (行動観察)
整理・分析	3 チームで交流する。	◇見直した内容をチーム内の他のグループに伝え合うことで、自分たちの考えをはっきりさせる。 ◇困っているグループには、その悩みをチーム内で伝えさせ、アドバイスをもらえるようにする。 ◇もし、チーム内で解決できそうになかったら、全体に投げかけ、意見をもらうようにする。	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい雨のクイズを作ったけど、内容と順番はこれでよいか。 ・担架と三角巾の体験を同時にしたら、時間短縮になるよ。 		
振り返り	4 自己の学習を振り返る。	◇「作戦を使って、内容の見直しができたか」という振り返りの視点を与える。	
	㊹ 私たちは「伝え方の工夫」の作戦を使って、担架と三角巾の両方の体験をすることにしました。次は、体験の仕方を説明できるよう練習したいです。		
課題の設定	5 本時の学びをまとめ、次時の課題を設定する。	◇「次の授業では何をするか。」を問い、「1組のグループと内容を合わせる必要がある。」「資料を作り直したい。」という次の課題を設定する。	

7 板書計画



メモ

